

東由利村報

No. 177 1972.4.1

発行 秋田県東由利村役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(一部8円) 昭和42年7月21日第三種郵便物認可

世帯と人口

一般会計		402,600千円
特別会計		168,712千円
国保		101,919千円
黒診	簡水	685千円
内訳	玉財	63,994千円
		2,114千円
世帯数	1,563世帯	
人口	7,101人	
男女	3,477人	
	3,624人	
	前月に比し世帯は1の減	
	人口は1の増	

道路整備をじつくり

予算堅実に四億二百万

昭和四十七年度の村一般会計予算案はじめ、報告案件二件、二七議案を議する。第一回東由利村議会定例会は、三月十一日招集、会期を同月二十五日までと定めて審議した。新年度の予算規模は、昨年度当初に次ぐ四億二百万円でグッと堅実路線。しかしそういう中で、土木予算は前年度に比べ、二千六百万円増とするなど、道路整備には腰をそえて取組む姿勢を示している。本紙は議会での村長施政方針、教育委員長教育方針説明、四議員による一般質問などを中心に、要約して編集した。



議会で述べる村長

道路の新設改良は新沢線、ザッコ又線、土場沢線などであり、須郷田一新田線の一部は舗装化を計画している。橋りょうの新設は向田橋、牡丹野橋ほか、財源に牡丹野橋ほか、財源に一般村費のほか、辺地債、過疎債、広域関係の交付税の

所信を述べる

牡丹野橋ほか、財源に一般村費のほか、辺地債、過疎債、広域関係の交付税の

積み上げを見込んでいる。村事業以外の土木事業の見

とおしてあるが、法内線は昨

年、主要地方道へ昇格、四

度をむかえた土場沢林道には、県が約二千二百万円

度を計画するよ

う要求したい。

黒淵線は黒淵まで、全部舗装される予定である。

なお、横渡一橋淵間(黒沢

林道)の県道昇格が実現の見込みであり、皆さまと共に喜びたい。

四十七年度は除雪機一台を購入、起債を財源に購入

したい。

このごとく昭和四十六年

度には、数々の経済変動があ

り、そのため、地方交付税の

財源である、法人税等の伸び

が期待薄となり、地方公共團

体にとっては一時、予算編成

がむずかしい時期があつた。

しかし幸い、臨時地方特例

交付金、資金運用部資金から

の実現で、地方財政対策は愁

眉をひらいた。

本村の歳入は、地方交付税

が次ぎ、村税、地方譲与税、

交付金などによって構成され

ている。

昭和四十六年度地方交付税

の実積は、総額二億三千六百

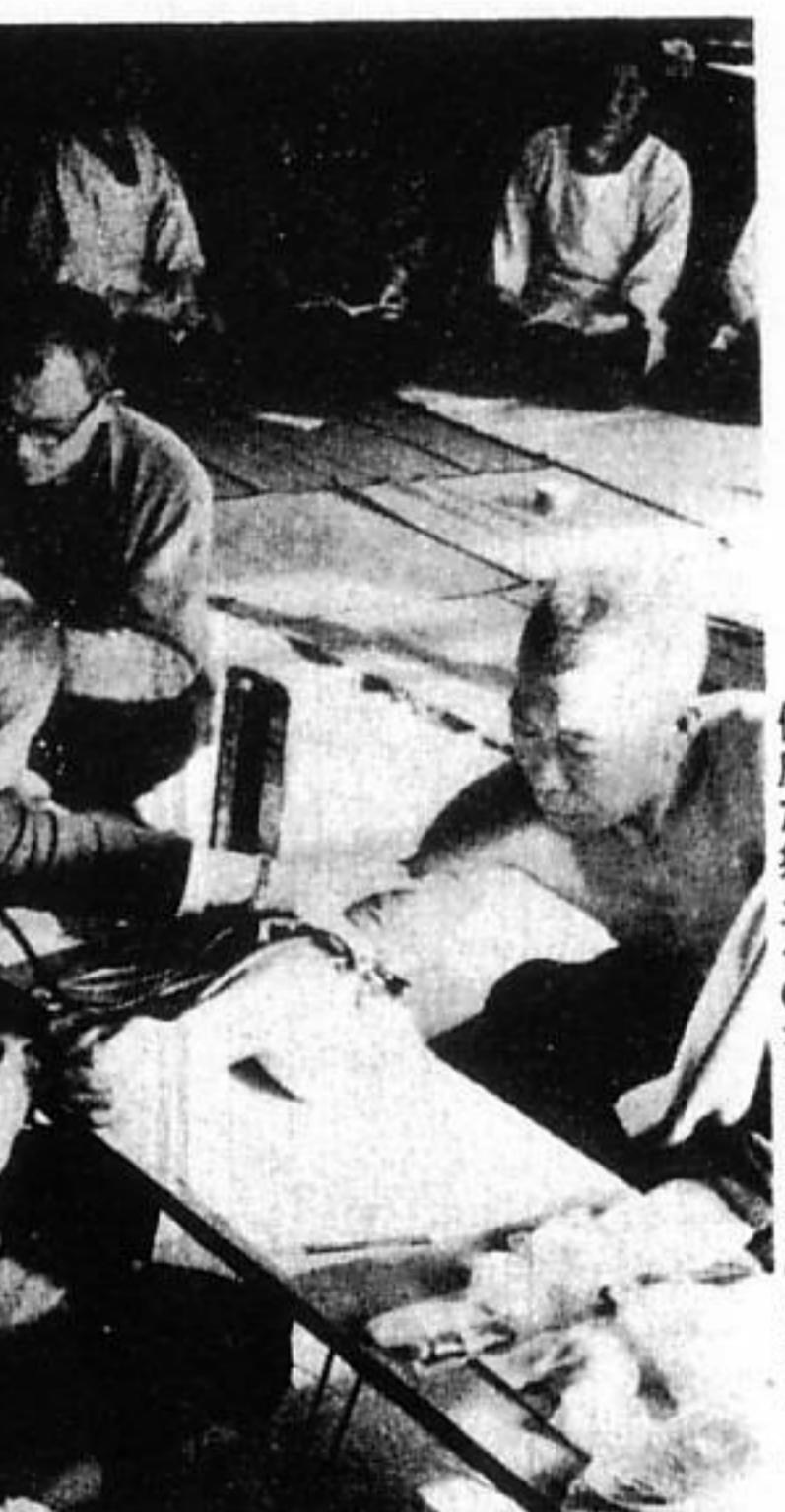
十二万八千円であり、特別需

要(中学校建設)として算入さ

れた額を差引くと、二億一千九百一十六千円であった

どう村民を指導するか、重大な

時期に当面しているわけ



ごみ処理は広域で横渡に不燃物処理場



健康新土への努力も村政の主柱である

改良地を推進する測量は

県営事業は

農林行政費には

地改良費補助金一千三百七十万一千円減反調査費百八

耕作組合補助金九十二万三千円養蚕組合補助金四十万円たばこ耕作組合補助金九十二万三千円養蚕組合補助金四十万五千円天災融資資金八万五千円

大庭敏昭小松秀穂柴田和尋【退職】建設課長梅津典男

農林行政費には地改良費補助金一千三百七十万一千円減反調査費百八耕作組合補助金九十二万三千円養蚕組合補助金四十万五千円天災融資資金八万五千円

大庭敏昭小松秀穂柴田和尋【退職】建設課長梅津典男

これとは別に、本村でも横

協力を得て、意欲的に行ない、

渡に、ごみ処理場用の敷地を購入しているので、四十七年

度から、不燃物を主体とした

ごみ処理は広域事業に加入することとなつた。

このごみ処理施設は、去る

二月二十五日に起工され、完

成は四十七年十二月で、実際の事業開始は四十八年四月の予定である。

水道事業の進捗状況は順調である。

投棄処分をしたいと考え、い

たたつていてる。

ま通路の用地購入交渉などに

購入している。

水道事業の進捗状況は順調である。

投棄処分をしたいと考え、い

たたつていてる。

水道事業の進捗状況は順調である。

投棄処分をしたいと考え、い

たたつていてる。</p

教育問題が浮き彫り

三月議会初日の十一日は、通告の四議員が立つて一般質問を行なった。まず長谷山二郎議員は、社会教育施設と当局の意欲。村の諸機関に青年層を参加させ、青年の自覚を促せと迫った。ついで田代寿治議員は、県道に昇格した黒沢林道の局部改良。老人医療費の公費支給対象年齢を、さらに引き下げよ。藤原虎之助議員は、出かせぎ対策の現状をつき、また小学校児童減と統合問題。小野昭一議員は、幼稚・小学校・社教の教育問題三つを取上げた。以下、当局との応答を要約すると…。

一般質問

村の機関に青年を

社会教育目標は四十八年度

長谷山二郎議員

①社会教

育を振興させるために、その

施設がほしいというのは、村

民全体のねがいであろう。社

会

教育施設を村長はセンタ

ー

方式で考

えているようだが、

前提だと思う。村長は種々の

機会を捉え、青年の中に入っ

て行き、ひざを交えて語り合

う心構えが必要である。④青

年の目を村政に向けさせるた

めに、青年議会や地域問題の

研究集会開催を提倡したい。

また新しい息吹きを村政に注

入するため、村の各種協議会

・委員会・審議会・調査会な

どに、青年の代表を加えるべ

きではないか。また青年に管

理の運営は、四十八年度を目標に

して、社会教育施設を建設し

たい。調査研究費は、六月の

補正予算に提出したい。②青

少年は大好きである。どうか

を述べるわけに行かないが、

たばこは村内で

ある。

それに広域計画を組み合

わせて眺めれば、大体、村の

方向がわかると思う。それか

ら、基本方針のことは、東由

利村開発基本構想として、今

会期中に提案の準備を進めて

いる。

佐藤教育委員長

村報は字

数に制限があり、考へている

ことを、全部載せるわけにな

らない。村報に書いていた

いから、そのことに前向きで

ない。意欲がないと見られた

のが適当と思われるものへは

できるだけ入れて発言ねがい

思っている。また各種委員会

から必要と思うので、教育委

員会・公民館と検討して行き

たい。③村の全体構想のこと

と、これは、構成員にさせる

のが適当と思われるものへは

残念に思っている。若いうち

に、青年議会に関心をもたせるこ

と、非常に大切なことだと

思っている。

たばこは村内で

ある。

それに、過疎振興計画は、こ

れの財政的裏づけを書いてあ

る。それに広域計画を組み合

わせて眺めれば、大体、村の

方向がわかると思う。それか

ら、基本方針のことは、東由

利村開発基本構想として、今

会期中に提案の準備を進めて

いる。

佐藤教育委員長

村報は字

数に制限があり、考へている

ことを、全部載せるわけにな

らない。村報に書いていた

いから、そのことに前向きで

ない。意欲がないと見られた

のが適当と思われるものへは

できるだけ入れて発言ねがい

思っている。また各種委員会

から必要と思うので、教育委

員会・公民館と検討して行き

たい。③村の全体構想のこと

と、これは、構成員にさせる

のが適当と思われるものへは

残念に思っている。若いうち

に、青年議会に関心をもたせるこ

と、非常に大切なことだと

思っている。

たばこは村内で

ある。

それに、過疎振興計画は、こ

れの財政的裏づけを書いてあ

る。それに広域計画を組み合

わせて眺めれば、大体、村の

方向がわかると思う。それか

ら、基本方針のことは、東由

利村開発基本構想として、今

会期中に提案の準備を進めて

いる。

佐藤教育委員長

村報は字

数に制限があり、考へている

ことを、全部載せるわけにな

らない。村報に書いていた

いから、そのことに前向きで

ない。意欲がないと見られた

のが適當と思われるものへは

できるだけ入れて発言ねがい

思っている。また各種委員会

から必要と思うので、教育委

員会・公民館と検討して行き

たい。③村の全体構想のこと

と、これは、構成員にさせる

のが適當と思われるものへは

残念に思っている。若いうち

に、青年議会に関心をもたせるこ

と、非常に大切なことだと

思っている。

たばこは村内で

ある。

それに、過疎振興計画は、こ

れの財政的裏づけを書いてあ

る。それに広域計画を組み合

わせて眺めれば、大体、村の

方向がわかると思う。それか

ら、基本方針のことは、東由

利村開発基本構想として、今

会期中に提案の準備を進めて

いる。

佐藤教育委員長

村報は字

数に制限があり、考へている

ことを、全部載せるわけにな

らない。村報に書いていた

いから、そのことに前向きで

ない。意欲がないと見られた

のが適當と思われるものへは

できるだけ入れて発言ねがい

思っている。また各種委員会

から必要と思うので、教育委

員会・公民館と検討して行き

たい。③村の全体構想のこと

と、これは、構成員にさせる

のが適當と思われるものへは

残念に思っている。若いうち

に、青年議会に関心をもたせるこ

と、非常に大切なことだと

思っている。

たばこは村内で

ある。

それに、過疎振興計画は、こ

れの財政的裏づけを書いてあ

る。それに広域計画を組み合

わせて眺めれば、大体、村の

方向がわかると思う。それか

ら、基本方針のことは、東由

利村開発基本構想として、今

会期中に提案の準備を進めて

いる。

佐藤教育委員長

村報は字

数に制限があり、考へている

ことを、全部載せるわけにな

らない。村報に書いていた

いから、そのことに前向きで

ない。意欲がないと見られた

のが適當と思われるものへは

できるだけ入れて発言ねがい